学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
東京都豊島区目白1丁目5番1号
電話（3986）0221内線2607
編集・発行人　小林　健次
年間300円

すすまぬ群馬進出計画

院と町側の意識にズレ

五年前の合意未だ実らず

平成四年六月十八日、群馬県吾妻郡長野原町から学習院に、十五ヘクタールの土地が寄付されるという合意がなされていた。町側は、年間を通して学生が利用する施設や、教職員等の住宅を建設することを受け渡しの条件とした。しかし、合意から五年経った今も進出計画は、実行に移っていない。

長野原町からの、土地寄付は、昭和六十年に策定された「新・長野原町総合計画」に基づいたものである。同町はこれに対し、二十一世紀に向けて人材の育成をはかるため、積極的に大学誘致を促進する、という政策を盛り込み、首都圏の大学と長野原町進出を呼び掛けていた。それに平成三年秋、学習院が進出の意向を示した。受け入れは、平成四年五月の執行部で検討され、院側との合意が成立した。

しかし、いざ二十一世紀に渡ってみると、具体的な進出計画の中、八つの基本構想のうちで「自然学習ネットワークの形成」を打ち建てている。この構想の一環として受け入れを決定した。

院側は、「学習院二十一世紀計画」の中の、八つの基本構想のうちで「自然学習ネットワークの形成」を打ち建てている。この構想の一環として受け入れを決定した。

しかし、いざ二十一世紀に渡ってみると、具体的な進出計画は、町側の期待する「文化・社会・経済等の各方面に寄与する自然豊かな学習の場」とはならない現状が進展することとなった。

【学習院の投入施設】

学習院は現在、学生や教職員などが利用できる施設として、沼津海浜場（静岡県）、八幡平松尾校舎（岩手県）、妙高高原寮（新潟県）、日光学園小屋（栃木県）、西田幾太郎博士記念館（寸心荘）（神奈川県）、蛇子沢小屋（新潟県）の六つの施設を持っており、本院の学生等は、格安で利用することができる。

（小林達哉）

手付かずのままの建設予定地

交通手段
車　関越自動車道渋川IC→R353→中之条→R145→新幹線→高崎（吾妻線）
電車　上野（上越・新幹線）→長野原草津口駅

検証！ゴミ問題

問われる学生のモラル

現在、日本では大量のゴミが氾濫している。これは本学も例外ではない。しかし、その一方で、資源が減少の一途をたどっているという現実がある。そこで、学内におけるゴミの現状をとらえ、あわせて現在の環境について考察する。

【学内の現状】

ここ数年で、校内のゴミの量が急増している。平成六年以前は、集積場への可燃ゴミ回収回数が週三回、不燃可ゴミは、一時保管場所としての回収箱三箱設置で、二週間に二回の割合だった。それが現在では、それぞれ週四、五回、六箱設置で週一、二回の割合と、二倍近くに急増した。それに伴い、多額の費用が投入されている。これには、ローン進出による影響も大きい。ローン出店は、平成六年、それまで禁止されていた缶、ビン、ペットボトルが自動販売機で販売可能になるなど、大きな変化が生じている。これは本学も例外ではない。しかし、その一方で、資源が減少の一途をたどっているという現実がある。そこで、学内におけるゴミの現状をとらえ、あわせて現在の環境について考察する。

【リサイクルの問題点】

最近、リサイクルが大っ唱えられているが、そこには大きな問題がある。それは、古新聞、古雑誌などの紙が古価の暴落で、廃却されていることである。つまり、ローンは不可欠であるこの一方、ゴミ増加の一要因であることは否めない。

【リサイクルの問題点】

最近、リサイクルが大っ唱えられているが、そこには大きな問題がある。それは、古新聞、古雑誌などの紙が古価の暴落で、廃却されていることである。つまり、再生紙としてリサイクルすることを前提として回収しても、それを引き取る業者がいないというのが現状である。それゆえ、かつては無料で行われていた古紙回収にも費用がかかるようになった。

本学では、前から古紙をリサイクルに活かわしている。多少の費用がかかっても、将来の資源、環境を考えると、止むを得ないと思われる。

【現在の地球環境】

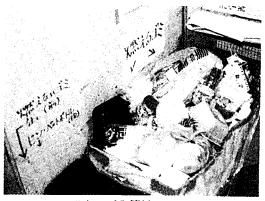
二酸化炭素による地球温暖化、フロンガスによるオゾン層の破壊、さらには、森林乱伐により引き起こされる砂漠化など、地球環境は刻一刻と悪化している。

最近、新しい社会問題となっているダイオキシンは、ガス等や奇形などの原因となる猛毒物質である。環境中のダイオキシンは主に三ゴミ焼却施設から煙突と共に出される。

このような現状を打開するには、我々一人一人のゴミに対する意識改革が急務である。家庭ではもちろん、構内でも分別、ゴミの減少化に心を配りたい。

【ゴミ問題改善策】

これらの問題改善策に向けた第一歩として、ゴミの分別収集が不可欠である。現在、構内には、可燃ゴミ、不燃可ゴミの二種類のゴミ箱が設置されている。これでは未だ分別の細分化が余り徹底されていないと言い難い。学生の分別意識の高揚と、その学校側の受け入れ体制が整うことが、改善への近道だ。学生のモラルが問われるのはやはり（赤澤晋太）



構内のごみ箱は…

大学図書館 機械貸出開始

大学図書館は平成九年度四月より、学生図書館に統一して貸出システムを機械化した。従来は館内借用証を提示しなければならなかったが、今度のシステム変更によって、一階の開架図書の学生証のみで借りられるようになった。ただし、書庫続きが窓口で、図書貸出返却作業も同時に発行される。大学図書館運用課の越川孝昭氏は「国内で自動貸出機を導入している図書館は極めて先駆的である」と説明している。貸出システムの機械化に伴い、煩雑・学生の分別意識の高揚と、その学校側の受け入れ体制が整うことが、改善への近道だ。学生のモラルが問われるのはやはり（赤澤晋太）

雑誌の貸出を受けるには、四月より、学生図書館に統一して貸出システムを機械化した。従来は館内借用証を提示しなければならなかったが、今度のシステム変更によって、一階の開架図書の学生証のみで借りられるようになった。ただし、書庫続きが窓口で、図書貸出返却作業も同時に発行される。大学図書館運用課の越川孝昭氏は「国内で自動貸出機を導入している図書館は極めて先駆的である」と説明している。貸出システムの機械化に伴い、煩雑・学生の分別意識の高揚と、その学校側の受け入れ体制が整うことが、改善への近道だ。学生のモラルが問われるのはやはり（赤澤晋太）

三階にコンピューター利用閲覧室を一室設置。今後は引き続き図書館利用証の提示と館外借用証の記入が併用システムがコンピューター化されたのを踏まえ、六月十一日から開架図書の自動貸出機を導入。機械の指示通りに順次操作をしていけば、貸出や貸出延長手続きが簡単にできる。図書貸出返却作業も同時に発行される。大学図書館運用課の越川孝昭氏は「国内で自動貸出機を導入している図書館は極めて先駆的である」と説明している。貸出システムの機械化に伴い、煩雑・学生の分別意識の高揚と、その学校側の受け入れ体制が整うことが、改善への近道だ。学生のモラルが問われるのはやはり（赤澤晋太）

引っ越しを終えて…

都会の煩雑な環境のなかに、心を和まされるこんな光景を見つけた。東京のど真んかで生まれたカルガモの赤ちゃん。安らぎの住居を求める親に連れられ、血洗いの池にとり着いた。目白通りを渡り、西武線を通って、この閑散とした森のなかへ…

紙面紹介
どう変わる？　目白の街　（二面）
目白の主役たち　（三面）
サッカー部初優勝　（四面）

BOOKS HORINDO
芳林堂書店
池袋本店　3984-1101
ヨドバシアキバ　3257-0018
池袋西口　3986-0024
荻窪店　0429-25-5355
高田馬場店　3209-2246
武蔵小金井店　0422-37-2111
吉祥寺店　0422-22-5555
下北沢店　3467-4946
渋谷店　3792-2561
新宿西口　0474-74-3737
大宮店　048-654-1111
大宮西口　048-254-1131

元東京地検特捜部長 河上和雄氏が講演

法学会総会から月十七日に学習院百周年記念会館で講演の中で河上氏は第一勧業銀行・野村証券による総会屋への利益供与事件やオウム真理教関係諸事件、神奈川県小学六年生児童殺害事件を取り上げて、それに付随する法解釈上の問題点を詳細に指摘した。

また、凶悪犯罪が相次いで「異常な犯罪が続いている」が、巨視的な視点から眺める治安は極めて良好だ。治安の悪化を憂える声がかえって、社会不安を招く原因となっている。殺人事件検挙率も国際比較で依然として高く、安心して生活できる国には違いない」と述べた。

マイクル・クライトン氏 来日講演会開催

去る六月十七日、学習院百周年記念会館正倉院において、アメリカのベストセラー作家、マイクル・クライトン氏による日記念講演会が開催された。この講演会は本院理事夫母会副会長を務める、早川浩・早川書房代表取締役の協力で実現したものである。

「ネットワーク社会に未来はあるか」と題して行われた今回の講演会で、クライトン氏は、ネットワーク化された現代社会を冷静な視点で分析し、その利便性と問題点を指摘。

また、クライトン氏は、テクノロジーについても触れた。第一定義はテクストの人間の生活を快適にしたが、結局、人自然の快適は無力に等しく、その限界を見えてきた。

さらに村上氏は「コミュニケーション手段の進化」について、「人間関係がかえって希薄になるのは」と疑問を提起する。クライトン氏は、それを「部認めたが、「コミュニケーションの展望」で、演者は長年の動物の感染症を研究していた日本生物科学研究所主任研究員の山内一也氏。

この講演において山内氏は、近年社会問題になっている狂牛病などについて、スライドを使いながら分かりやすく説明した。また、「イギリスでは、狂牛病が発生した時、すぐに人さが原因と分かり牧畜を禁止する声があった。それは、羊などの動物の感染病研究に一百年の伝統があったためだ」などの興味深いエピソードを織まえた話に、聴衆は熱心に聴き入っていた。

約一時間の講演の後の質疑応答は二十分に及び、聴衆の関心の強さがうかがえた。

生命科学セミナー開催

六月十二日、学習院百周年記念会館四階会議室において、生命分子科学研究所主催の生命科学セミナーが行われた。演題は「正年病って希薄になるのは」とクロプリオン病の現状と今後の展望」で、演者は長年研究員の山内一也氏。

この講演において山内氏は、近年社会問題になっている狂牛病などについて、スライドを使いながら分かりやすく説明した。また、「イギリスでは、狂牛病が発生した時、すぐに人さが原因と分かり牧畜を禁止する声があった。それは、羊などの動物の感染病研究に一百年の伝統があったためだ」などの興味深いエピソードを織まえた話に、聴衆は熱心に聴き入っていた。

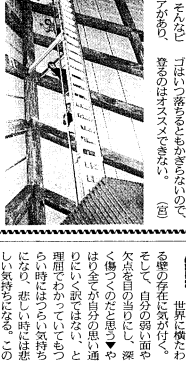
約一時間の講演の後の質疑応答は二十分に及び、聴衆の関心の強さがうかがえた。

素朴な疑問

ピラ校の不思議

古来より、ピラミッド形の立体には息づきたくなったら、後ろにあるカゴを見上げてみて欲しい。そのヒントは非日常な風景がある。だが、そのハシゴはいつ落ちるともかぎらないので、登るのはオススメできない。（谷）

ピラ校の授業の



ない時を狙い、侵入した我々は、階段席最上段の中央にハシゴを発見。登頂する決意を固めた。武者震いしつつも登頂成功。学習院の象徴ピラ校を、学習院一番の男たち！とは言うものの、ハシゴの上にはセンチに満たない幅しかない。立ったら叶わない。所詮は嘗ての…

まあ、ピラ校で授業を受けていて一度くらいは、後ろを振り返ってみるのもいいかもしれない。

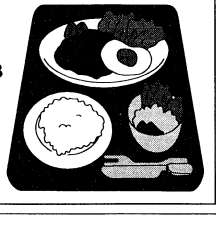
何かにつまずくと、順調に進んでいた時に経験した、自分と身のわるい世界に横たわる壁の存在に気が付く。そして、自分の弱い面や欠点を目の当りにし、深く傷つくのだと思う▼やはり全て自分の思い通りにいく訳ではない、と理解できるまでは、時間がかかっていてもつらい時にわかっていくことになり、悲しい時には悲しい気持ちになる。この気持ちを無理して押し殺していると、バランスを崩してしまう。そこで人は同情に癒されることを望むのではないか。最近よく聞く「癒し」という言葉も多くの人が安らぎを求めているとの一つの表れなのだろう。人それぞれの癒し方があるが、私は悲しみに浸ってみるのも一つの方法だと思う▼例えば悲しい歌を聞いて、泣いたりすることがある。また、落ち込みもその底を極めれば悲しみは回復するだけである。これを繰り返すことで気持ちが解きほぐされ最後には落ち着くのだ。勇気を持てるのは、自分の素直な気持ちを安定させ、ありのままを受け入れていくことも必要だと思う▼誰もが人にはうまくできないと思いつつ傷みを抱えている。この自分だけの世界に落ちるのは、時には安らぎをもたらすもの。しかし、それを乗り越えて人は成長していく。この自分だけの世界に落ちるのは、時には安らぎをもたらすもの。しかし、それを乗り越えて人は成長していく。（里）

さくらラウンジで
コンパ
宴会
しませんか
＊御予算・人数・時間など、ご相談ください。
目白会館2階（内）2573
Tel 03-5992-1551
営業時間　9:30～21:00

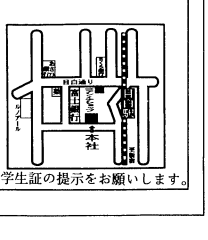
太平山酒蔵(3950)3293
居酒屋海賊(3954)4229
居酒屋ユンヌ(3950)6453

手づくりハンバーグの店
コック ハット
cook hut
めじろ駅前
14:00～18:00
お食事の方のみ
ジュースコーラをサービス。
お持ち帰りもできます！

安くて　うまい！
・ランチ3品盛り合わせ550円
・ハンバーグステーキライス500円　他
秋田こまち使用
営業時間
11:30am～22:00pm
5:00～　サービスセット
Tel.5983-5533



財・ポケットベル・携帯電話が安い！！
＜学生割引キャンペーン中＞
アルバイト募集中！
高価下取り致します
（一万五千円以上）
株式会社　テレワン
〒171　東京都豊島区目白3-4-3
デァダンクビル4F
TEL 03-3954-3939
FAX 03-5996-9699
業務内容…コンピューター入力
ファイリング・販売員
勤務時間…10:00～19:00
時　給…800円～1000円
勤務先…豊島区目白3-4-3
デァダンクビル4F
担　当…江島
ぜひ一度お越しください

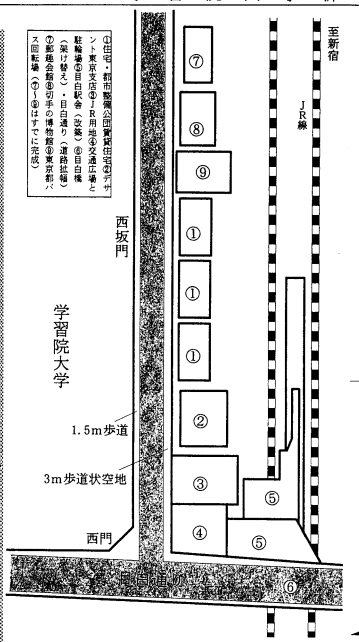


※学生証の提示をお願いします。

特集 どう変わる？目白の街

現在、目白は二十一世紀に向けて変わり続けているが、それは多くの人々によく知られているとは言えない。本紙は第一二一号でその開発計画を特集した。それから二年。本紙は再度、それに携わる公共団体や企業を取材し、その詳細を明らかにしようと試みた。

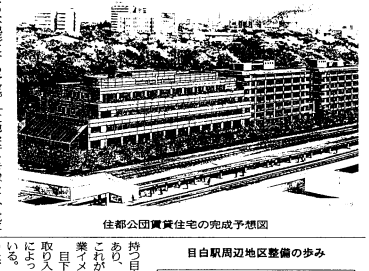
目白駅周辺の開発状況略地図



住都公団賃貸住宅〈略地図①〉

平成七年に、住宅・都市整備公団が鉄道清算事業団用地を買収した後、平成八年二月、目白二丁目街地住宅（仮称）建設工事の準備作業を開始し、同年四月に着工した。住宅棟の完成は今年の十二月の予定。また、九月頃からは入居者の募集が始まり、住宅棟完成と同時に住民の入居も開始される。

住建物構造は、鉄筋コンクリート造で、地上七階建ての棟が二棟並んでいる。これらはすべて賃貸住宅で、戸数は約百三十八戸、間取りはＩＬＤＫから３ＬＤＫまである。付帯施設として、一〇〇平方メートルの集会所のほか、五十四台分の自転車場と百三十八台の自転車置場が設置される。また、住宅棟の外装については周辺の緑を際立たせるような色彩にする予定。その他、敷地の緑絡化や住宅棟の屋上での植栽計画、自然石を使った舗装の遊歩道を整理する計画などもある。さらに、目白駅前という立地条件を考慮して、電車の騒音を防ぐための防音窓や洗濯物によって住宅棟の景観を損ないないような配慮もなされるようである。


住都公団賃貸住宅の完成予想図

デサント東京支店〈略地図②〉

スポーツウェアの製造販売会社であるデサントが東京支店を来年一月、目白へ移転させる。

現在、東京支店は文京区にあるが、交通の便がよくない上、デサントである。そのため、数年前から都内で移転先を捜していた。

その頃、住宅・都市整備公団（以下住都公団）は地公団（以下住都公団）は地公団に住民から目白駅繁路沿いの所有地に、住民が利用できる施設を設けるよう要望を受けていた。そこで公団住宅の隣に「施設棟」を建設することで、そして職人どもの。更に、駅向かいの八階にすする予定を五階にと設することで、そして職人どもの。更に、駅向かいの企業を公募し、デサントが購入権を得た。デサントのオフィスとなり、地下と二階に、駐車場とスポーツウェアの展示会を行うためのイベントスペースが置かれる。四百二十人を収容できるイベントスペースは、営業イメージと一致した。

これがデサントの掲げる企業イメージと一致した。

目下、デサントの要望を取り入れながら、住都公団によって工事は進められている。今年十二月末に完成される。デサントの側に引き渡される。

完成予定の建物は地上五階地下一階、三一五階は持つ目白の印象は、高級感が、文化水準の高い街。

プランターを置く配慮があり、プランターを置く配慮がなされる。また、建設予定の遊歩道に面する外壁はガラス張りになる。ガラスの外壁は通られて、歩行者はより自然を多く感じられる。

このように、デサントの側は地元との共存を強く願う。

駅前広場と駐車場〈略地図④〉

平成五年に豊島区が取得した用地約一〇〇〇平方メートルは、駅前広場として整備される。その中に、駐車場（約九〇〇台収容）を設置する予定だ。

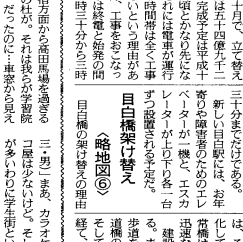
目白駅周辺地区整備の歩み

平成 元年 6月	「目白駅周辺地区整備推進協議会」が発足
平成 5年 3月	豊島区、国鉄清算事業団用地の一部を取得
平成 6年 3月	東京都、清算事業団用地の一部をバス回転広場施設として取得
平成 8年 2月	住都公団、目白一丁目住宅（仮称）建設工事
平成 8年 3月	住都公団、デサント東京支店建設工事着工
平成 8年 4月	切手の博物館オープン
平成 8年10月	目白駅舎改築工事着工
平成 8年11月	目白橋架け替え工事着工
平成 9年12月	住都公団、目白一丁目住宅、デサント東京支店建設工事完了予定
平成12年10月	目白駅舎改築工事、目白橋架け替え工事完了予定

着々と進む駅前整備

ＪＲ用地〈略地図③〉

ＪＲが取得した約一〇〇〇平方メートルの用地を向こう中とのことだ。また、開発に着手するのは、平成十二年に目白駅舎改築と目白橋


いずれ姿を消す歩道橋の上から

それと同時に、都道上の問題を指摘されていた歩道橋を撤去することに伴い、地下通路が建設される。その際、建て替えも計画されている。そのため、駅舎の自転車を移動しなければならない。しかし、約二年前から自転車置場の設置は進まず、平成二年と四年に、スロープ付きの通路を作ることも検討された。

これらの計画を具体化する組織として、平成七年二月に「目白駅前広場等に関する連絡協議会」（通称「駅前広場協議会」）が発足、同協議会は、地元協議会に関係する企業、公共団体、学校などから構成される。

この地元協議会は、目白駅周辺地区整備推進協議会（以下、地元協議会）で、平成元年に正式発足した。これ以前にも目白橋の架け替え問題などを協議してきており、長い目白地区は一戸建て住宅を中心とする閑静な住宅地である。また、学校の多い文教地区でもある。そのため、落ち着いた雰囲気があり、住民はこのイメージを大事にしたいとのイメージを大事にしたいと町づくりを望んでいる。こうした要望を具体的に東京都や豊島区に提出しているのが目白駅周辺地区整備推進協議会（以下、地元協議会）である。

この地元協議会は、地元住民の要望を取り入れながら、住都公団、デサントの要望を取り入れながら、住都公団によって工事は進められている。今年十二月末に完成される。デサントの側に引き渡される。

完成予定の建物は地上五階地下一階、三一五階は持つ目白の印象は、高級感が、文化水準の高い街。

プランターを置く配慮があり、プランターを置く配慮がなされる。また、建設予定の遊歩道に面する外壁はガラス張りになる。ガラスの外壁は通られて、歩行者はより自然を多く感じられる。

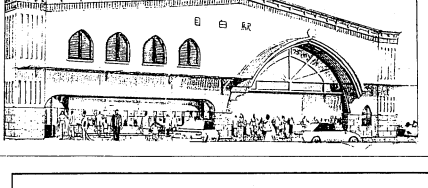
このように、デサントの側は地元との共存を強く願う。

駐車場（約九〇〇台収容）を設置する予定だ。

目白駅舎改築〈略地図⑤〉

目白駅の現駅舎は昭和三十年に建てられたもので、現在ではかなり老朽化が進んでいる。そのため、駅舎の建て替えも計画されている。

目白駅舎の建物は地上五階、地下一階、延べ床面積は約二千平方メートルとなる。


現在の目白駅舎（上）と改築後の予想図（下）

地元協議会

より住みよい町を目指して

活動を続けている地元住民を中心にした組織である。

この地元協議会には目白地区の町会長、商店会長、そして学習院、目白通り沿の商店会、そして、地元の代表者によって構成されている。

目的は目白の活性化で、今回取り上げている目白地区の整備も地元の要望によって始められた。そのため行政との意思疎通がスムーズで計画が順調に進んでいる。また、地下歩道とコンコースの地下ショップ、レベーターを利用してもらうなど工夫をしている。

また、地下歩道とコンコースの地下ショップ、レベーターを利用してもらうなど工夫をしている。

目白通りの商店街の活性化に向けて、地元協議会は、地元住民の意見を取り入れながら、店内のディスプレイを大事にしたり、ショーウィンドウを工夫したりするなど、商店街の活動を続けている。

このように町づくりに欠くことのできない「地元の声を生かす」という目標は地元協議会の積極的な活動によって支えられている。

記者の眼

真の「エリート」の必要性

真の「エリート」とは何だろうか。最近、そんなことを考えさせられるようなことが起こった。六月二十三日に橋本首相が「米財務省証券を売却したいという誘惑にかられることがある」と発言したことにより、ニューヨーク株式市場は史上第二位の大幅下落を記録した。世界有数の経済大国を率いる指導者としては、あまりに軽率で責任感のない発言だったと言えよう。

かつてスペインの哲学者オルテガは、真の「貴族」（これは「エリート」と解してよかろう）とは「階級にかかわらず、自己に多くを要求し、それを成し遂げようとする人間のことだ」と定義した。元首相・宮沢の父を持ち、早くから政治家になることを目指してきた橋本首相は、家柄や立場を重視する伝統的な「エリート」観からすれば、「エリート」であるべき。が、内外に顕著を抱える今の時期に、さらなる不安定要因を拾くようでは真の「エリート」とは言えない。そこには「現代日本に大改革を行う」という高い要求を自らに課し、それを乗り越えようとする精神がみなぎっている。

確かに、橋本発言には、過熱気味だった株価上昇を止め、株価調整の呼び水になったという評価もある。だが、結果的にそうなっただけで、褒められるべきことではない。「真意が伝わらなかった」と首相は嘆いているが、言葉は、橋本首相のような要職にはついていない。だが、言うまでもなく、真の「エリート」とは指導者の立場にあるべき。我々の問題でもある。しかも、投資率の低下など、個人の責任がますます問われるようになっている日本の現状を考えると、真の「エリート」の必要性は増していると思われる。それにトーマスマンが言ったように、愚劣な国民は、愚劣な政治しか持てない以上、我々一人一人が政治的「エリート」になることが、日本の政治的貧困を高めるためには必要なのだ。そうすることが、日本国民全体と政治指導者の政治感覚を高めることになるであろう。これは、「超大国」として底力を示し続けているアメリカから、合理主義中国に対抗することもつながるかもしれない。もちろん、このようなことは一朝一夕にできるものではない。だが、二十一世紀の日本を支えることになるであろ我々学生には、より求められることなのではないであろうか。

（法学科三年　片山慶隆）

平等育む性差の再認識

六月十二日、男女雇用機会均等法を改正する労働関係法の一部改正案が成立した。今まで努力義務であった募集・採用、配置・昇進に係る種々の規定を、禁止規定とするものである。男女不平等是正の船付橋になると期待されている。

しかし、この改正によって生じる弊害は見逃せない部分もある。労働基準法の改正では、女性の深夜業についての規制が解消されたが、やはり女性の夜間働けなかの帰宅は危険である。職種についても、体格的・体力的な制約があろう。法的には「可能」な事を個々の事情から「出来ない」と言うことは、女性が仕事をする上で限界があるのでは、といえようなことを、ことさらに印象づける結果もある。

以前より、女性が男性と同じ「社会」にいるために結婚・出産をあきらめ、男性と同様の社会以上の努力を余儀なくされており、そのような状態で女性は、男性と平等を気づかせなければならない。しかし均等法の施行後、女性が、抑圧されてきた被害意識を覚醒に、権利の主張ばかりを唱え始める きっかけにもなってしまっている。

女性だけが子供を産む。子供を産めるのは社会や男性のためでもある。だから女性が出産で会社を休むのは当然の権利だと言う。ところが、このような主張の際、利害関係のない大学時代に、再認識する必要があるのではないか。（法学科三年　平田千佳）

女性だけが子供を産む。子供を産めるのは社会や男性のためでもある。だから女性が出産で会社を休むのは当然の権利だと言う。ところが、このような主張の際、利害関係のない大学時代に、再認識する必要があるのではないか。

は考慮されていない。また、営利追及・機敏性偏視という会社の原則にのっていれば、いかなる理由であれ、長時間仕事が出来ないという者を社に残しておく必要はないはずなのである。昨今の女性の権利は、このような手厚く保護されており、平等を訴える声が多いのである。

私達は、男女が平等であることを明の理として成長してきた世代だが、がからこそ社会に出てからその男女差に悩む。基本的な権利は同じでも、男女には根本的な差異がある。男女は比べることのかなぬ平行線に立つものであり、ともに存在する点を拙いあってこそ、二つの性の存在する意味がある。

今の男女平等の主張は、性差による欠損の補償については触れず、具体的な対策もなく無責任な趨目に過ぎない。均等法改正を有名無実にしないためには、男女の抜本的な意識改革をして不要の欠缺を埋めつきである。そのための第一段階として、利害関係のない大学時代に、再認識する必要があるのではないか。

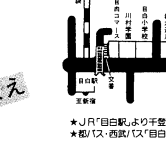
（法学科三年　平田千佳）

いいたいほうだい

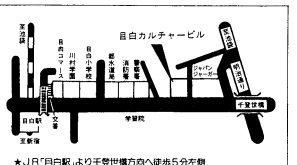
新宿方面から高田馬場を過ぎるとあの杜が、それは我らが学習院大学、だったのに！車窓から感じが感じはあるのだが、長時間仕事が出来ないという者を社に残しておく必要はないはずなのである。昨今の女性の権利は、このような手厚く保護されており、平等を訴える声が多いのである。

まず、今の目白をどう思う？「高級感がある（菅二・男）」高級住宅地や国宝のイメージが強いから。加えて「のどかで緑が多い（菅二・女）」大学周辺にも、目白庭園などの緑は充実。気軽にお散歩も楽しめるよね。今回の人々の学生に聞いたけど、そのうち七割の場所だったのね。夜景で楽しんでるの？

それでも、学生の立場からはやはり、目白をもっと便利にして欲しいのです。あなたは目白にどんな施設やお店が欲しいと思う？「横断歩道を設けるなどして欲しい（菅二・男）」ごもっともだ。近いのに面倒くさがり屋！でも、便利でもね。「駅ビルに、お惣菜類が買える食品街が欲しい（法三・女）」お昼、飯をさらに充実したいグルメ派。「フィットネスクラブが欲しい（法三・女）」ごもっともだ。運動不足なのかな。でも、駅前通りの方って坂すかしくない？そして目白についての話は大型の本屋・古本屋が欲しい（菅二・女）」うん、もし出来れば、絶対にお願いしたいね。


いいたいほうだい

自作自演の Urban Life SPACE 5
学習院中高門まえ
多目的貸ホール
貸教室・貸画廊
目白カルチャービル
☎3981-5252



★JR「目白駅」より千登世橋方向へ徒歩5分左側
★都バス・西武バス「目白警察署前」又は「千登世橋」バス停そば

KUSHI 949 KYU
Am11:30～Pm14:00
ランチタイム
品数豊富・日替わりメニュー
Pm17:00～Pm23:30
大皿無国籍料理
各種パーティー
2次会
受付中!
5名様～120名様まで
お一人様3000円から受付けます
2000円　料理5品
1000円で飲み放題!
〒171　豊島区目白3－4－13
Tel.03(3951)6694

友のいる風景
異国文化を通じて

今回は、外国人の先生による、友のいる風景です。取材に応じてくださったのは、英米文学科助教授のグッドヒュー先生（イギリス出身）。紹介してくださったのは、先生の一番の親友でもあり、夫でもあるデビッド・ロイさん（アメリカ出身）です。「同じ英語を話すけれど、私たち国際結婚なのよ」と笑う先生は、次のようなお話をしてくださいました。ただし、記者の和訳が正確であればの話ですが…。

異国での出会い

私たちが出会ったのは、シンガポールの大学院なのよ。彼は哲学、私は英米文学の博士号をとるために、三年間同じキャンパスで学んでいたんです。そうね、彼は物静かで、しかも私の全く知らない仏教、特に「禅」に興味を持っていたの。そのことが私にとっては何より新鮮だったね。

私たちは異なる文化で育ったけれど、出会った時からそのことには何の問題もなかったと思うわ。それはやっぱりお互い外国の文化に興味があったからでしょうね。

彼の魅力

彼は典型的な学者肌の人だから今でもビジネスより、人が生きるとはどういうことか、本当の豊かさとは何なのか、ということに興味があるみたい。とても研究熱心な学者よ。今は、文教大学で哲学を教えているのだけど、そこで日本の学生に仏教とはなにか、という講義をしているの。おかしいでしょう、大学時代に仏教の「禅」に興味を持ち始めたらしくもう二十年以来の熱心な仏教徒なのよ。よく「どうして日本人は自国の宗教に対して熱心でないのかな？」と言っているわ。

彼は本当に穏やかで、いつもリラックスしているの。何ていうのかしら、例えば家計とか、将来のことなんかあんまり心配していないのよね（笑）。でもそのおかげで、私も毎日でもリラックスしていられるんだわ。

フェミニスト・メアリッジ

私はフェミニストだし、彼も彼の考えに賛成なので、家事は完全に半々に分担しているんです。それぞれが週二日ずつ家事担当の日を決めて、その日にはもちろん一歳になる息子、マークの幼稚園の送り迎えもするようになっているの。マークは今、日本の幼稚園に行っているんだけど、これが私たちには大変！二人とも日本語がわからないから、もらってくるおたよりを理解するのに苦労しているわ（笑）。日本の家庭は家事分担がされていない家が多いんだけど、これは私たちには通じないかもしれないけど、「フェミニスト・メアリッジ（家事分担なこと）を、その考えにしてもらえば、ともに幸せになれるんだ」ってね。

文学部　英米文学科
リンダ・グッドヒュー
助教授

プロフィル
リンダ・グッドヒュー
一九四八年イギリス生まれ。一九七一年オックスフォード大学英文学科卒業。その後、シンガポール国立大学大学院で英米文学の博士号を取得。一九八七年英語教師として来日し、同年本学に着任

（聞き手・構成菅野あゆみ記者）

日白の主役たち

公演・寄席を積極的に行い、日々の精進を怠らぬ、演劇部、落語研究会（以下落研）。今回はこの実力派二団体の中でも選りすぐりの三人、ご紹介いたしましょう。〝目白の主役〟たち、見かけたら、お声をかけて下さいませ!?

写真部六月展 6/19～21

右「geometric」小塚憲生（数３）／左上「幾図的に曲げられた腕の不調」小林修（営業３）／左下「ロッカー」比留間留夏（哲１）　写真提供＝写真部

演劇部

エネルギッシュな活動を繰り広げる演劇部。その公演（プレンド）でヒロインを演じたのは佐藤実さん（独三）だ。その彼女、演劇部の女優として初めて舞台に立ったのは意外にも大学二年（昨年）の五月。だねっきた豊富な舞台経験。真摯のある彼女の演技には秘密があった。

◇　◇　◇

人見知りする癖を直すため、母親に連れられて児童劇団の門を叩いたのは彼女が五歳の時だった。そこで彼女は次々と才能を開花させていったのだ。舞踊、演技、学芸会で主役は一南アルプス天然水」のCMに出演。その後数々の映画にも登場している。幼少時代から積み重ねてきた豊富な舞台経験。そのような彼女の演技には秘密があった。

◇　◇　◇

人見知りする癖を直すため、母親に連れられて児童劇団の門を叩いたのは彼女が五歳の時だった。そこで彼女は次々と才能を開花させ、小学生の時には子役として活躍。中学二年では一南アルプス天然水」のCMに出演。その後数々の映画にも登場している。幼少時代から積み重ねてきた豊富な舞台経験。真摯な彼女の演技には秘密があった。

◇　◇　◇

これを契機に改めて役者への道を見つめ直したという。ここで彼女は役者前面に重点を置く立を指摘。確かに役者活動は楽しさ、やりがい共に十分だ。が、将来の設計は仕事の安定性も考えなくてはならないものだ。

現在、彼女は相変わらず多忙ながらも充実した生活を送っている。ハードな授業内容で知られるドイツ文学科でも優秀な成績を修め、時間の合間を縫ってアルバイトもする。また、四歳から続けている琴（生田流琴曲・助教の練習にも力を入れる。役者として活躍を続け、最近では映画「宮沢賢治その愛」に出演。両立どころか多忙、何でもこなす彼女、はっきり通じての経験は豊富だった。大好きな演劇を通じ仕事に演じることになったのだ。友達同士協力し合い、児童劇団では味わうことの楽しさを知った。

やりたいことをやっている。

◇　◇　◇

目標の人物は、大学からの先輩でもある。ここで彼女は役者活動に重点を置く来年は就職活動をするかもしれない。一方、大学進学との両立を考えると、やりがい共に十分な活動は楽しさ、やりがい共に十分な活動は楽しさ、やりがい共に十分な活動は楽しさ

サッカー部　都1・2部春季対抗戦　初優勝

快進撃!!

本学サッカー部がまたもや快挙を成し遂げた。初出場ではあったが、都1、2部春季対抗戦において、見事優勝を果たした。

五月二十五日から六月二十九日にかけて、東京都大学サッカー連盟1・2部春季対抗戦が行われた。本学は予選リーグを「勝」敗の2位で通過し、トーナメント戦に進出した。

対拓殖大学戦（一回戦）

一回戦の相手は一部の拓殖大。だが、レギュラー選手が出場しないため、本学にも十分勝機はある。

前半は、本学が優勢に試合を進める。しかし、体を張った拓殖ディフェンスの前になかなかチャンスを作れない。だが後半4分、決定的なチャンスが訪れる。オフサイドトラップでポールを受けた須磨剛選手（済三）を相手のGKが倒し、PKを得る。これを仲山宣成選手（よしまさ・法三）が冷静に左隅へ蹴り込み、先制点をあげた。この後、拓殖大のカウンターを無難に抑え、1－0で勝利を収めた。

対立教大学戦（準決勝）

この試合では、立教大の多彩な攻撃をいかに本学がかわし、得点するかが、勝敗の鍵となった。

試合は、終始立教大のチャンスが目立つ苦しい展開となった。しかし、本学は前になかなかチャンスを作れない。だが後半19分、CKのこぼれ球を逸早く詰め、ゴール（へんみ・政一）が豪快に蹴り込みゴール。さらに34分、逸見選手が右サイドを突破し、センタリングをあげる。ボールは美しい孤を描き、走りこんだ須磨選手の頭を経由して、左サイドネットに吸い込まれた。終了間際に1点を失うが、立教大の猛攻をしのぎ切り、そのまま2－1で逃げ切った。

対大東文化大学戦（決勝）

本学の勢いは最高潮に達している。初出場ではあるが、相手がどこであれ、実力を出し切りたい。

この日も先制点は本学。前半11分、山崎光昭選手（政二）が右サイドをワンツーで突破し、センタリング。これを仲山選手がゴール左に決めた。33分、GKのミスから一点を失うが、その5分後には相手のオフサイドトラップの隙をつき、仲山選手が2点目のゴール。あは、本学ペースで前半を終える。

後半も本学優勢は変わらず、10分、吉原尚之選手（法四）がドリブルからゴール。45分には、とどめの5点目が決まり、完勝。優勝チームに相応しい試合を見せた。

決勝戦、相手GKと1対1から仲山選手がこの日2点目のゴールを決めた

予選リーグ

学習院　0－1　日大文理
学習院　2－0　国学院大
学習院　9－2　都立大

一回戦

学習院大　1（1－0、0－0）0　拓殖大
得点者　仲山

準決勝

学習院大　2（0－0、2－1）1　立教大
得点者　逸見　須磨

決勝

学習院大　5（3－1、2－0）1　大東文化大
得点者　仲山2　須磨2　吉原

一部昇格への課題

今大会での優勝は、1部は、新たに大きな武器となり得る。

だが、飛び抜ける落とし手勢の本学サッカー部も、一つ大きな問題を抱えている。それは練習環境が劣悪なことだ。現在サッカー部は、主に硬式野球場（練習場）をおこなっているが、照明が暗く、地面が堅いため、ケガになりやすい。また、グラウンドが狭いため、ディフェンスの強化として、ゴールを使っての練習ができない。

そこでディフェンス強化として、つつ提案をしたい。

それはオフサイドトラップの導入だ。この戦術を使えば、相手に無理強いする必はなくなるのだ。

今大会で優勝し、1部昇格を目指す戦いが、本学サッカー部の課題である。

サッカー部の強さの秘密

本学サッカー部が快進撃を続けている。昨年秋に2部昇格した ばかりで、関東大会予選突破、今大会優勝という成績は驚異的というほかない。この快進撃の要因として二つの事柄が挙げられる。

一つはゾーンプレスの導入である。94年W杯を境にサッカーは変わった。マラドーナの衰えと共にゲームメーカー存在は希薄になり、優勝したブラジルのようなチーム力で勝つサッカーが主流となった。そして、それは、ゾーンプレスへと受け継がれてゆく。本学サッカー部も、前方から激しくプレスをかける。この戦術は一つのボールに多くの人数が関わるため、技術を補うに余りある攻撃力を生み出すことが可能だ。体力を武器にし、これを十分にこなせる本学にとっては、非常に有効な戦術であるといえる。

しかし、この戦術の効果だけではない。本学サッカー部には、もう二つの要因、精神的支柱が存在している。それが沖山雅志主将（経三）だ。沖山主将は、試合の流れがよく見えるゴールキーパーを務めるため、試合中後ろから指示を与えることのはもちろん、試合以外の部分でも選手たちの精神面の調整役となっている。普通ならば、これだけの成績を残せばうぬぼれが生じる。しかし、「2部に昇格したばかりのうちより弱いチームはない」と語る沖山主将の謙虚さが選手たちからうぬぼれを取り除き、自問自答を残しているのだ。

自分たちの持ち味を生かせる戦術は見つかった。沖山主将という精神的支柱も存在する。チームが実力を十二分に発揮できる条件は整っている。今後もサッカー部の快進撃が続くことを期待したい。

チームの柱、沖山主将

（吉田幸司）

奇跡までの軌跡　ホッケー部女子

本学ホッケー部女子は、春季リーグ戦において、五勝一敗一分で2部2位という成績を収めた。そして六月一日に武蔵大ペースで進み、本学は勝ち、前半は武蔵大ペースを守り、0－1の1部平を終了。そして後半にもどうにか同点に追いつき、武蔵大を押し始めた。明らかに相手は疲れている。この機を逃さず相手ゴールに殺到、岡知の巻選手（法三）のシュートが突き刺さる。これに続いて山本忠子選手（政四）が、決定的ともいえる2点目を入れる。このまま試合は2－0で本学の勝利。見事1部昇格を決めた。

こうして、創部以来初めて四年目にしての快挙を成し遂げたわけである。その道程は決して平坦なものではなかった。

苦難のスタート

元ホッケー部女子主将、三年前に谷村康子主将（現四）を中心に、女子部学科時代からの友人である一年生五人が集まって結成した有志チームであった。彼女達はサークルから、最終的に運動部女子ホッケー部へ昇格することを目標としていた。しかし、「これ以上体育会を増やせない」という声が挙がり、結局既存ホッケー部女子部門と なることを前提にした活動をすることになる。とはいえ、初めは練習場所がなく、南3号館のわずかなスペースを利用していたが話題を受け、付近の公園を転々とする日々が続いた。練習風景をゴルフと間違えられてしまう笑えない状況だった。

のはこの頃である。その他の苦労も数知れず。予算が学校からもらえない状況、自費で活動したこと、指導者がいなかったこと、人数不足で試合が出来なかったこと。このような見通しのたない状況の中で、部解散の危機は何度もあった。しかし事態は好転した。北グランド使用が許された「屋場」を得た。また新入部員の加入や男子ホッケーOBが監督コーチを引き受けてくれるなど、人材もそろってきた。これで活動は軌道に乗り始め、一昨年春には初めての練習試合に挑むことになる。相手は高校生。だが結果は惨敗。ホッケーの難しさを思い知らされる。そんな苦難の中、晴れて正式な運動部として認められる二目標の一つが達成された。彼女達の目の輝きが増した。

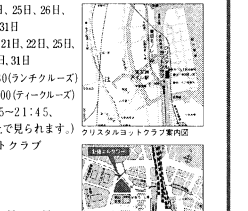
初戦のフェリス戦では1－0でチームが勝利を挙げる。最終結果は3部5位に終わったが、「私達でもやれる」と大きな自信を得た。

苦しい夏合宿をくぐり抜け、体力・技術も得た彼女達は、秋リーグでは部優勝・2部昇格を果たし、そして今回1部昇格という快挙を成し遂げた。わずか四年間で、ゼロからトップクラスにまで昇りつめたのだ。今の地位にあるのは、当初の彼女達には想像だに出来なかったことである。

元気、感謝、自覚

そんな彼女達には、三つのモットーがある。「元気、感謝、自覚」。いつでも明るく盛り上げ、周囲の環境に感謝し、ホッケーを通じて学ぶ自覚を持つ。それにふさわしい行動をとる。「私達だけでなく、他部などの周囲の多くの支援があったからこそ」と谷村主将が語るように、彼女達の活躍は、周囲のバックアップがあってこそ成り立つ。ここに応えるには、より一層活躍することであるのは、彼女達自身が一番良く知っている。三つのモットーを胸に、彼女達は今日もグランドで汗を流す。

（丸林浩）



一路、ホッケー街道邁進中

学習院 SPORTS

院内戦　日程変わる

今年度から院内戦（四大戦・一般種目の対抗戦）の日程が変更された。（例年のように、各種目ごと異なった日程で行われ、七月二十、二十一日の二日間で、すべての種目の四大戦出場者を決めるというこの一大イベント）となったが、さらに、今大会で優勝し、1部昇格を目指す戦いが、本学サッカー部はあくまで謙虚な姿勢だ。しかし、今大会で優勝し、1部昇格を期待するのかから部が満足に練習できないことは問題であることについては、大学側の早急な対応が望まれる。

（吉田幸司）

砲丸投げ8位入賞　陸上競技部大島選手

六月二日、上毛陸上競技場において、関東新人陸上競技大会が行われ、本学陸上競技部の大島康雄選手（物二）が、砲丸投げで8位入賞を果たした。記録は10メートル27と自己ベスト（11メートル16）に及ばなかった。

◇　◇　◇

大島選手は、本来やり投げの選手である。高校三年の時、国体の境目最終予選において、やり投げで高校生のトップになった実績を持っている。そして、その他に砲丸投げと円盤投げをこなしており、今大会ではじ痛のため、砲丸投げでの出場となった。

現在の大島選手を取り囲む状況は、良いものではない。陸上競技部は、中高新校舎建設の影響を受け、練習場所を学外に求めざるを得ないのである。そして、やり投げの練習は、月曜日の北グランドでしかすることができない。

その苦境を乗り越え、本来のやり投げで、素晴らしい成績を挙げることを期待したい。

今年の院内戦に期待

院内戦　日程変わる

今年は夏季休暇中に開催されるため、その間には改善されそうだ。

四大戦は、学習院、成蹊、大学による交流会である。武蔵、成城大学といった四大学に、今年から参加する。

今年は、今回の変更に絡み、院内戦の主事が、各運動部から、運動部常任委員会（各運動部の代表者で成立つ団体）に変わった。

今年は夏季休暇中に開催されるため、その間には改善されそうだ。

四大戦は、学習院、成蹊、武蔵、成城大学といった四大学による交流会である。

今年度から院内戦（四大戦・一般種目）の対抗戦は、各運動部の審判の務めとなった。これだと、時間の関係上、試合を途中で打ち切ったり、定刻通り参加して欲しいものだ。

（金山洋子）

テスクの片隅

あなたに伝えたい、その言葉を私は知りたい▼言わなくても済むこと、言わなくても分かること、言わなくても伝えたいこと、言わなければ伝わらないこと、言葉にしてはじめて伝わることもあるのだ▼言葉を受けとめるのは、相手の意図をくみ取ったものでないなら、肩すかし。「そんなこと言っていません」と言っても、全くそれまでだ▼大学新聞記者となって、わかったことは、「言葉」は、なかなか難しいことを知った。ふとした一言も、受け手の立場や心境によってその解釈は様々である▼目に見えるものでさえ、その実態に納得してもってしてもはかり知り得ぬその本心、いったい誰に聞けば、誰に言葉で伝えてそれようかが▼年を経て、経験を重ねれば重ねるほど、表現することによって生じる弊害、ひいては表現することに伴う困惑になる。相手が眼前におられ、反応が不明の時には、なおのこと絡む。是かせ▼おさめの言葉が何を訴え何を立つ言葉が、誰に聞き問、誰にこそ明くかの。あなたを傷つけず、そしてあなたをうつ調べを、「外」を表現する術を、私は、知りたい。（佳）

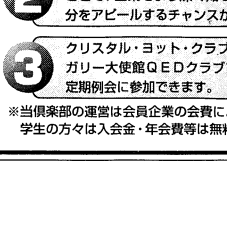
ボクの業界セミナーに来ないか。

学生と企業の出会いの場を与えます

対象者：大学1年生～3年生、および大学院1年生

日比谷倶楽部

(株)鷗州総合研究所　日比谷倶楽部
取締役会長 竹村健一



就職協定廃止に伴い、全国各地の名門企業及び革新的優良企業の経営者の方々から、人材の採用についてのご相談を頻繁にお受けします。また学生諸君からは「学生時代にもっと企業の方々との接点を持ち、自分の職業を模索したい。」との悩みを打ち明けられ、一肌脱ぐことを決心し、日比谷倶楽部を設立いたしました。

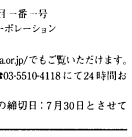
日比谷倶楽部では

1. 名門企業及び革新的優良企業の経営幹部の方々を講師としてお招きした講演会に出席できます。
2. 業界セミナーにて企業の人事担当責任者と面識を持つことで、企業をより深く知ることが出来るとともに、自分をアピールするチャンスが得られます。
3. クリスタル・ヨット・クラブでの船上セミナー、元ハンガリー大使館QEDクラブでのガーデンセミナー等の定期例会に参加できます。

※当倶楽部の運営は会員企業の会費により円滑に運営されているため、学生の方々は入会金・年会費等は無料であり、今後も請求することは一切ありません。

7・8月の説明会の予定

●レディクリスタル会場
日程：7月22日、23日、24日、25日、26日、28日、29日、30日、31日
8月4日、19日、20日、21日、22日、25日、26日、27日、29日、30日、31日
時間：第1回11:00～13:30(ランチクルーズ)
第2回13:30～15:00(ティークルーズ)
（7月26日は18:15～21:45、浦安花火大会が船上で見られます。）
場所：クリスタルヨットクラブ
参加費：無料



クリスタルヨットクラブ案内図

●新宿Lタワー会場
（竹村健一が直接説明します。）
日程：7月21日、8月22日、30日
時間：18:00～19:15
場所：新宿Lタワー
参加費：無料

新宿Lタワー案内図

●参加ご希望の方はハガキにお名前・ご住所・電話番号・大学名・学部・学科・学年・参加したい日程・時間を第3希望までご記入ください。後日、参加決定日程をハガキで通知します。当日ハガキを持参して下さい。尚、参加希望者が多数でいずれの日程でも参加が難しい場合は別日程を準備します。その場合は別日程をハガキで通知します。
●友人と一緒に参加したい人は代表者のみハガキを出し、本人を含む人数を記入して下さい。
●宛先：〒100 東京都千代田区内幸町一丁目一番一号
帝国ホテル本館5階 507　鷗州コーポレーション
●お問い合わせは☎03-5511-4119まで
●竹村健一ホームページ http://takemura.cplaza.or.jp/でもご覧いただけます。
●竹村健一による当会についての説明を☎03-5510-4118にて24時間お聞き頂けます。
●第1回目の締切日：7月15日、第2回目の締切日：7月30日とさせていただきます。

竹村健一の就職塾

君はどんな人生を望むのか？

メディアの達人が「会社の選び方」「職業とは何か」を語る

21世紀を担う若い世代に向けた新たな提言

竹村健一［著］
8月下旬発売　B6版

主な内容

就職戦線異常あり
従来のいわゆる就職協定が廃止されたことにより、今後の学生の就職活動は大きく変わらざるを得ない。3年になってから就職活動開始というパターンは過去のものに。

労働市場の大変革期
日本式経営の柱だった年功序列制や終身雇用制度が崩れつつある今、「企業」と「社員」の関係も大きく変化し始め た。企業に何を求め、何を与えることができるか。

真の自己実現とは
自分の人生は自分で切り開かなければならない。まず自分が何をやりたいか見極め、会社、職業をメディアの情報に惑わされることなく、自分の目、耳で選ぶ。

実力を証明するには
自分の能力やキャリアをきちんと相手に伝え、実力を正しく評価してもらうにはどうすればいいか。「自分自身」のプレゼンテーションの方法を考えてみる必要がある。

日比谷倶楽部とは何か

株式会社 太陽企画出版　〒101 東京都千代田区神田小川町3-7-13 ファミ・サンクビル8階 TEL 03-3294-8231 FAX 03-3294-8238